

# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (三原市立第一中学校)

- ① 教科等 音楽科 ② 学年 第2学年
- ③ 題材名 日本の民謡を歌おう
- ④ 本時の目標 創意工夫したことを生かし「音戸の舟唄」を民謡らしく唄う技能を身に付けて歌唱する。
- ⑤ 学習の流れ (3時間目/全3時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準(観点) (評価方法)
1 前時までの授業を振り返る。 ○民謡の種類や特徴を思い出す。  ○「音頭の舟唄」を歌う。  2 目標を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有拍の民謡と拍節的でない民謡の有無や、発声の仕方・声の音色・コブシ・節回し・産字等を想起させる。</li> <li>・声を出すことに抵抗をなくし、歌いやすい雰囲気をつくる。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                         オリジナルの「音戸の舟唄」を発表し、互いの発表の工夫を見つけよう。                     </div>		
3 各班で前時までに学習してきたことを生かして歌い方を追求する。 ・自分達で決めた表現に近付けるように話し合いをしながら歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節回しを共有できるように、前時に書き込んだオリジナルの楽譜(歌詞に線や言葉でコブシ等を書き込んだもの)を活用させる。</li> <li>・コブシ・産字・合いの手・アクセント等を工夫することを再確認し、変更を加えても良いことを伝える。</li> </ul>	
4 グループごとに「音頭の舟唄」を発表し、各班の工夫を見つけ交流し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雰囲気をつくるため「波」の音のCDを流す。</li> <li>・聴く側のマナー等(傾聴・拍手)を確認する。</li> <li>・評価の観点(コブシ・産字・アクセント・声の質・合いの手・全体的な雰囲気)を示し、ワークシートにそれぞれの班のオリジナル性を具体的にメモさせ発表させる。 (例…声の質→張りがある。) (例…コブシ→<u>QQ</u>)</li> <li>・発表された特徴に沿って、その班の表現意図を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コブシや無拍感、民謡独特の明るい発声の仕方を身に付けて歌っている。 [音楽表現の技能] (観察・ワークシート)</li> </ul>
5 本時のまとめと振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの班の歌い方をもとに、民謡らしい特徴を生かして全員で歌わせる。</li> <li>・自己評価をさせる。</li> </ul>	

言語活動の充実

設定した言語活動を通して育てたい力

- コブシや無拍感、民謡独特の明るい発声の仕方を工夫した「音戸の舟唄」の表現のよさを感じることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 評価の観点に基づいて聴取させ、自分達の班の演奏と比較し、違いやよさを具体的に発表させる。
- 書く時間を取りすぎないように、観点ごとに簡単なメモがとれるようなワークシート工夫する。